



【国・地域別サマリーカナダ】

カナダは州レベルの取組がメインであったが、カナダ天然資源省が2020年12月に水素戦略を公表し、連邦政府レベルの取組を加速

カナダ

1 削減目標	中期目標 (NDC*1)	長期戦略	1 水素の位置づけ 環境政策名称	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重工業、運輸部門（海運、重量陸運、空輸）の脱炭素化に貢献
	2030年までに -30% (2005年比) (※2021年4月に-40%~-45%まで引き上げる政府発表あり)	2050年までに -80%以上 (2005年比) (※2050年ネットゼロカーボン目標の法制化が進行中)		

2 水素・FC政策の全体像	<ul style="list-style-type: none"> ■ カナダイノベーション・科学経済開発省が「Canadian Fuel Cell Commercialization Roadmap」を策定（2003/3初版、2008/12更新）。 ■ 州政府レベルでの取組もあり、カナダの代表的な燃料電池メーカーBallard Power Systemsの本社が立地しているBritish Columbia州（西海岸）、代表的な燃料電池・水電解装置メーカーのHydrogenicsの本社が立地しているOntario州（東海岸）がZEV・燃料電池に特に力を入れてきた（ZEV導入促進、水素ステーションの整備）。 ■ 2020年には各州で水素関連プロジェクトが立ち上がっている。具体的には、カナダの豊富な水力資源と化石燃料資源による安価な水素製造、燃料電池トラックの実証、ガスシステムへの水素混入の動きがある。 ■ カナダのCHFCA*2とオーストラリアのAHC*3が、グリーン水素製造技術の実現に向けた覚書を締結（2020/7）。 ■ 3年間の検討の末、カナダ天然資源省が「カナダ水素戦略」を策定（2020/12）。 	⇒ 詳細後述
------------------	---	--------

3 定量目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素使用量、製造量、価格等の目標を示す。 	4 施策例 (予算詳細)	<ul style="list-style-type: none"> ■ イノベーション・科学経済開発省が燃料電池の産業化を支援 ■ カナダ天然資源省が水素ステーションの導入を支援 (Electric Vehicle and Alternative Fuel Infrastructure Deployment Initiative、2020年3月まで8基の導入を支援) ■ 州政府による補助金制度（例：British Columbia州の燃料電池自動車購入補助制度Clean Energy Vehicle Program for BC) 																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2050</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCV</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>500万台</td> </tr> <tr> <td>水素ST</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>全国をカバー</td> </tr> <tr> <td>使用量*4</td> <td>1.6%</td> <td>6.2%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>製造量</td> <td>300万トン</td> <td>400万トン</td> <td>2,000万トン</td> </tr> <tr> <td>価格</td> <td>410~980円/kg</td> <td>-</td> <td>120~290円/kg</td> </tr> </tbody> </table>		2025	2030	2050	FCV	-	-	500万台	水素ST	-	-	全国をカバー	使用量*4	1.6%	6.2%	30%	製造量	300万トン	400万トン	2,000万トン	価格	410~980円/kg	-	120~290円/kg
	2025	2030	2050																						
FCV	-	-	500万台																						
水素ST	-	-	全国をカバー																						
使用量*4	1.6%	6.2%	30%																						
製造量	300万トン	400万トン	2,000万トン																						
価格	410~980円/kg	-	120~290円/kg																						

出典：UNFCCC、カナダ政府HP、Hydrogen Strategy for Canada、各種報道

*1 NDC：パリ協定に基づく温室効果ガス排出削減目標 *2 CHFCA：Canadian Hydrogen and Fuel Cell Association *3 AHC：Australian Hydrogen Council *4 エネルギー使用量に占める水素の割合

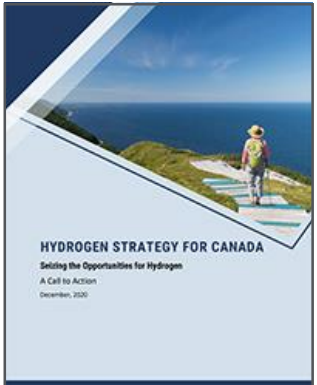


【水素・FC政策概要 カナダ】

2020年12月16日にカナダ天然資源省は、2050年カーボンニュートラルと35万人の雇用創出を図る目的で水素戦略を策定した

カナダ水素戦略概要

名称	カナダ水素戦略 (“Hydrogen Strategy for Canada”)								
策定主体	カナダ天然資源省								
策定期期	2020年12月16日								
背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3年前から水素戦略を検討していた ■ 2050年カーボンニュートラル目標達成への貢献と、35万人の雇用創出を図る目的 								
予算	■ 15億CAD (カナダドル) (1,230億円) の低炭素・ゼロエミッション燃料ファンドを設立 (水素を含む)								
戦略の柱	戦略的パートナーシップ	投資リスクの解消	イノベーション	規格・標準					
	導入支援、法規制整備	普及啓発	地域での実装、水素ハブの形成	国際市場、国際連携					
定量目標	水素使用量	水素製造量	水素の炭素強度	水素価格	FCV	水素ST	都市ガス代替	CO2削減量	業界売上高
	2025年	エネルギー使用量の1.6%	300万t-H2/年 (高炭素)	< 36.4 gCO2e/MJ	5~12CAD (410~980円)/kg				
	2030年	エネルギー使用量の6.2%	400万t-H2/年 (低炭素)					0.45億t-CO2/年	
2050年	エネルギー使用量の30%	2,000万t-H2/年 (低炭素)	さらなる低減	1.5~3.5CAD (120~290円)/kg	500万台以上	全国の充填インフラ整備	水素代替率 50%以上	1.9億t-CO2/年	500億CAD (4.1兆円) /年
その他特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリーン水素、ブルー水素 (CCS付化石燃料の改質)、原子力発電由来水素を含む「低炭素水素」を促進していく。 ■ 米国 (特に加州や東海岸) 日本、韓国、中国と欧州連合を水素輸出の主要な市場とする。 								



出典: カナダ政府HP、Hydrogen Strategy for Canada、各種報道